



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月3日

上場会社名 システム・ロケーション株式会社

上場取引所 東

コード番号 2480 URL <https://www.slc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 千村 岳彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部管掌 (氏名) 井坂 俊達

TEL 03-6452-2864

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,266	33.5	416	7.1	454	16.4	279	10.1
2022年3月期第3四半期	948	14.0	389	20.8	390	12.0	310	8.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 211百万円 (26.4%) 2022年3月期第3四半期 286百万円 (33.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	79.20	
2022年3月期第3四半期	88.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	3,797	3,085	81.2	873.54
2022年3月期	3,600	3,051	84.6	863.30

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,082百万円 2022年3月期 3,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		50.00	50.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	45.9	700	26.5	710	27.9	440	4.2	124.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) Inspiration株式会社、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	3,570,000 株	2022年3月期	3,570,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	41,783 株	2022年3月期	41,783 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,528,217 株	2022年3月期3Q	3,528,240 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や、今後の事業運営における内外の状況の変化により、実績はこれらの業績予想と大きく異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(企業結合等関)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～12月31日、以下「当期」）における当社関連市場である国内自動車市場は、引き続き半導体等の部品供給不足の影響を大きく受けながらも、自動車メーカーの調達・生産努力もあり、第2四半期に比してさらに改善の傾向が見られました。新車販売台数（乗用車）は前年同期比3.9%減と前年割れが継続しながらも、10-12月累計が前年同月比5.5%増となったこともあり、ようやく最悪期からの回復の兆しが見えてきました。所謂“コロナ禍”前の2019年の同期販売台数と比較した場合、新車販売台数は20.8%減の水準となり、30%減の水準が継続していた第2四半期に比して、明るさが垣間見えるものとなりました。しかしながら、現時点において“コロナ禍”前の販売台数水準に戻る時期などの見通しは、未だに不透明であり、直近においても受注停止の報道が出るなど、国内新車販売市場の極度に厳しい環境は継続しています。中古車登録台数（乗用車）は同5.6%減となり、新車の長納期の影響を受け、引き続き流通台数が減少する市場状態が継続しています。

このような社会環境の中、当社グループにおいては、前期に引き続き自動車販売事業者、自動車関連金融事業者など、お客様における業務のDX化の一助となるべく、大規模法人向けSaaS提供企業として新機能追加や新商品開発の推進に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,266,608千円（前年同期比33.5%増）となりました。売上高のほとんどがリカーリングの性質によるものであり、ストック型売上として比較的安定して推移するものですが、既述の通り当社の重要な顧客グループである新車販売事業者が新車の長納期化によって極めて厳しい環境にあるなか、新規売上について想定した水準は達成できませんでした。営業利益は416,835千円（前年同期比7.1%増）となりました。当期首にInspiration株式会社（以下「Insp社」）を子会社化したことに伴うM&A費用及び企業結合会計による識別可能資産・のれん等の償却負担に加え、今後の売上に繋がるべく新製品開発を行ったため、売上原価・販売費及び一般管理費が増大することとなりました。経常利益は454,601千円（前年同期比16.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は279,419千円（前年同期比10.1%減）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による当四半期累計期間の業績への重要な影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,674,617千円となり、前連結会計年度末に比べ492,152千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が526,062千円減少したものであります。固定資産は2,123,283千円となり、前連結会計年度末に比べ689,337千円増加いたしました。これは主に顧客関連資産が512,500千円増加及びのれんが131,227千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,797,900千円となり、前連結会計年度末に比べ197,184千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は175,319千円となり、前連結会計年度末に比べ13,686千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が9,723千円減少したことによるものであります。固定負債は536,660千円となり、前連結会計年度末に比べ176,171千円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が144,030千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、711,979千円となり、前連結会計年度末に比べ162,485千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,085,921千円となり、前連結会計年度末に比べ34,699千円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が69,103千円減少及び、剰余金の配当が176,410千円発生したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が279,419千円発生したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.2%（前連結会計年度末は84.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期におきましては、2022年5月6日付「2022年3月期決算短信」に記載いたしました当期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,977,833	1,451,771
売掛金	166,747	205,752
棚卸資産	828	49
その他	21,360	17,043
流動資産合計	2,166,770	1,674,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	168,687	205,646
減価償却累計額	△62,289	△71,117
建物及び構築物(純額)	106,398	134,529
船舶	60,000	60,545
減価償却累計額	△59,999	△60,409
船舶(純額)	0	136
車両運搬具	9,849	9,849
減価償却累計額	△5,114	△6,297
車両運搬具(純額)	4,734	3,552
工具、器具及び備品	156,468	160,673
減価償却累計額	△126,989	△136,704
工具、器具及び備品(純額)	29,478	23,969
土地	129,691	167,756
その他	1,000	—
有形固定資産合計	271,303	329,943
無形固定資産		
のれん	3,704	134,932
顧客関連資産	—	512,500
その他	262,608	281,823
無形固定資産合計	266,313	929,256
投資その他の資産		
投資有価証券	653,278	616,305
保険積立金	226,971	230,734
その他	25,386	26,352
貸倒引当金	△9,307	△9,307
投資その他の資産合計	896,329	864,083
固定資産合計	1,433,945	2,123,283
資産合計	3,600,716	3,797,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,204	17,661
未払法人税等	88,560	78,837
賞与引当金	26,823	27,041
その他	59,415	51,778
流動負債合計	189,005	175,319
固定負債		
役員退職慰労引当金	230,458	256,744
退職給付に係る負債	58,850	64,705
繰延税金負債	71,179	215,209
固定負債合計	360,488	536,660
負債合計	549,493	711,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	191,445	191,445
資本剰余金	191,230	191,230
利益剰余金	2,467,608	2,570,633
自己株式	△18,659	△18,659
株主資本合計	2,831,623	2,934,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,239	144,136
為替換算調整勘定	1,049	3,244
その他の包括利益累計額合計	214,288	147,380
非支配株主持分	5,309	3,892
純資産合計	3,051,222	3,085,921
負債純資産合計	3,600,716	3,797,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	948,737	1,266,608
売上原価	131,884	219,000
売上総利益	816,852	1,047,607
販売費及び一般管理費	427,618	630,772
営業利益	389,234	416,835
営業外収益		
受取利息	457	330
受取配当金	11,007	29,876
持分法による投資利益	3,000	1,460
その他	2,310	6,099
営業外収益合計	16,775	37,765
営業外費用		
為替差損	5,536	—
貸倒引当金繰入額	9,307	—
その他	677	—
営業外費用合計	15,521	—
経常利益	390,487	454,601
特別利益		
投資有価証券売却益	79	—
子会社株式売却益	54,758	—
特別利益合計	54,837	—
特別損失		
固定資産除却損	34	12
投資有価証券評価損	—	1,450
役員退職慰労金	—	13,281
特別損失合計	34	14,744
税金等調整前四半期純利益	445,290	439,856
法人税、住民税及び事業税	125,389	172,903
法人税等調整額	12,478	△10,836
法人税等合計	137,868	162,067
四半期純利益	307,422	277,789
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,403	△1,630
親会社株主に帰属する四半期純利益	310,825	279,419

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	307,422	277,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,514	△69,103
為替換算調整勘定	726	2,408
その他の包括利益合計	△20,788	△66,695
四半期包括利益	286,634	211,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290,017	212,510
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,383	△1,416

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、Inspiration株式会社の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の概要内容

被取得企業の名称 Inspiration株式会社
事業の内容 自動車販売店向けソリューション事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは「自動車関連事業者向け業務支援」を国内外において展開する企業グループです。当社が掲げる社是「Co-Creation」のもと、当社が強みとする自動車にまつわる各種データベースや自動車の価値算出ノウハウなどの基礎技術をオートリース、自動車ファイナンス、新車販売店メーカーなど、業界毎のご要望にお応えし、カスタマイズやシステム商品開発を行っております。

Inspiration社(以下「Insp社」)は、主に自動車ディストリビューター向けシステム開発や、自動車販売店向けソリューション事業を展開している会社であり、特に輸入車インポーターや輸入車新車販売店におけるソリューションを得意分野として事業展開し、当社が有しない分野での豊富な実績を有しております。

「100年に一度と言われる自動車業界の大変革の時代」と言われるなか、当社グループが今後さらなる事業発展を遂げるためには、現商品の拡充、顧客幅の拡大、新商品の開発が不可欠であると考えております。当社グループとInsp社は、広義では同じ業界に属しているものの、事業領域や顧客領域、また商品特性は、それぞれ個別に独立していることから、2社がそれぞれに有するネットワークやノウハウを組み合わせることで、これまで以上に幅広い事業領域、顧客領域での展開、また新商品の開発を行うことが可能となります。その結果、今後の当社グループの企業価値向上に寄与していくものとの考えから、同社の株式取得を決定いたしました。

(3) 企業結合日

2022年4月15日(みなし取得日2022年4月1日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 取得した議決権比率

100%

(6) 取得企業を決定するに至った主な経緯

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2022年4月1日から2022年12月31日

3 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内容

取得の対価	現金	821,600千円
	アドバイザリー費用他	24,032千円
	合計	845,632千円

4 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

147,722千円

のれん金額は、第1四半期連結会計期間において取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に計算された金額でありましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。なお、のれん金額に修正は生じておりません。

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。

(3) 償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却

5 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	298,662千円
固定資産	72,423千円
資産合計	371,085千円
流動負債	50,977千円
固定負債	15,142千円
負債合計	66,120千円

6 のれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその内訳並びに償却期間

①無形固定資産に配分された金額及び主要な内訳

顧客関連資産（顧客関係） 550,000千円
顧客関連資産（受注残） 14,000千円

②償却期間

顧客関連資産（顧客関係） 11年
顧客関連資産（受注残） 3ヶ月